

令和3年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

概要	名称	公益財団法人宮崎県芸術文化協会		所在地	宮崎市宮田町3-46		
	電話番号	0985-31-2780		ホームページ	http://mivazakigeibun.jp/		
	設立年月日	昭和55年10月3日	代表者	会長 内藤 泰夫	県所管部・課	総合政策部 みやざき文化振興課	
	総出資額	102,800千円		県出資額	0千円	県出資比率	0.0%
	設立目的	宮崎県民の芸術文化活動を奨励、援助するとともに、各種芸術文化事業を実施することにより、本県芸術文化の振興に寄与することを目的とする。					
特記事項							

内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率:92.4%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等) (実績) 公益目的事業比率:96.6%	(計画) 公益財団法人格の保持 (公益目的事業比率等)	
	②公社等の経営見直し				
	経営・事業運営改善	・事業内容の点検・見直し	(計画) 事業運営方針の検討 (実績) 評議員会・理事会において検討を行った。	(計画) 事業運営方針の検討 (実績) 評議員会・理事会において検討を行った。	(計画) 事業運営方針の検討
	財務改善	・自己収入確保策の検討	(計画) 事業収益の拡充 (実績) 「みやざき文学賞」受賞作品集の頒布等により収入確保を図った。	(計画) 事業収益の拡充 (実績) 「みやざき文学賞」受賞作品集の頒布等により収入確保を図った。	(計画) 事業収益の拡充
組織等適正化	・基盤強化に向けた組織の在り方検討	(計画) 会員数の増加、事務執行体制の適正化 (実績) 公認会計士の活用等を図った。	(計画) 事務執行体制の適正化 (実績) 公認会計士の活用等を図った。	(計画) 事務執行体制の適正化	
③県と公社等の関係見直し					
人的支援見直し	県派遣職員の必要性の検討	(計画) 国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭実施に向けた団体機能強化 (実績) 県職員1名を派遣した。	(計画) 国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭実施に向けた団体機能強化 (実績) 国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭の開催は令和3年度に延期されたが、国民文化祭に向けた団体機能強化に目処がついたことから、令和2年度までで県職員の派遣を引き上げた。	—	
財政支出見直し	・補助金支出の在り方の検討	(計画) 補助事業及び文化プログラム関係委託事業を生かした協会の活性化 (実績) 創造性やチャレンジ性のある公演・取組に対する助成事業を前年度と同じ規模で実施し、協会の活性化はもとより、県内文化活動のさらなる活発化やレベルアップを図ることができた。	(計画) 補助事業を生かした協会のさらなる活性化 (実績) コロナ禍のなか、芸術文化活動を思うように実施できない状況の中で、県から補助金の増額を受けて助成事業を拡充し、コロナ対策を徹底しながら実施する取組や創造性・チャレンジ性のある取組を支援することにより、県民の芸術文化活動が途絶えることなく活発な展開が図られるとともに、延期となった国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭に向けた気運の醸成にもつなげた。県財政への依存度がさらに高まったが、公益性の観点から妥当である。	(計画) 補助事業を生かした協会のさらなる活性化	
④情報公開推進	・ホームページでの財務状況の公開の検討	(計画) 財務情報の公開 (実績) 内閣府の公益法人インフォメーションホームページ上で財務情報を公開	(計画) 財務情報の公開 (実績) 内閣府の公益法人インフォメーションホームページ上で財務情報を公開	(計画) 財務情報の公開	

	(人)	令和2年度				令和3年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	16	0	4	12	16	0	4	12
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	15	0	3	12	15	0	3	12
	職員数	2	1	0	1	1	0	0	1
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	10,990	17,058	10,448	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	21,257	20,819	41,194	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	3,188	3,794	2,955	
その他の県からの支援等									
主な県財政支出の内容	事業名	事業内容			令和2年度 決算額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	種別		
	① 県内文化芸術活動支援事業	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた文化団体を支援するため、県民芸術祭の補助拡充と感染防止対策を図ったモデル公演を実施する。			21,011	10,000			
	② 県民芸術祭補助	みやざき文学賞の実施、加盟団体が行う事業への補助等			10,573	10,573			
	③ アーツカウンシルみやざき設置事業	「アーツカウンシルみやざき」を設置し、文化団体への助言や相談対応、人材育成研修等を実施する。			10,448	0			
	④ 運営費補助	人件費等の事務局経費に対する補助			9,610	10,405			
	⑤ アーツカウンシルみやざき機能拡充事業	「アーツカウンシルみやざき」体制の充実を図り、文化団体への助言や相談対応、人材育成研修等を実施する。			0	10,662			

実施事業	① 芸術文化団体への文化活動・公演に対する助成						
	② 県民芸術祭						
	③ みやざき文学賞						
	④ 芸術文化賞表彰						
	⑤ 会報誌の発行						
	⑥ アーツカウンシルみやざきの設置						
活動指標	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 県民芸術祭の総入場者数	(人)	4,500	8,568	190.4%	4,500	4,500
	② みやざき文学賞の応募作品数	(点)	740	838	113.2%	740	740
③							
指標の設定に関する留意事項							

	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)			
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
経常収益	35,612	45,059	61,800	資産	107,675	107,571	106,763
経常費用	35,091	46,217	60,943	流動資産	4,875	4,771	3,963
当期経常増減額	521	-1,157	857	固定資産	102,800	102,800	102,800
経常外収益	141	0	0	負債	779	1,832	167
経常外費用	0	0	0	流動負債	779	1,832	167
当期経常外増減額	141	0	0	固定負債	0	0	0
当期一般正味財産増減額	662	-1,157	857	正味財産	106,896	105,739	106,596
一般正味財産期首残高	106,234	106,896	105,739	指定正味財産	0	0	0
一般正味財産期末残高	106,896	105,739	106,596	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	一般正味財産	106,896	105,739	106,596
指定正味財産期末残高	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	102,800	102,800	102,800
正味財産期末残高	106,896	105,739	106,596	(うち特定資産への充当額)	0	0	0

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
① 自主事業比率	自主事業費 ÷ 経常費用計 × 100 (%)	86.0	67.9	79.0%	86.0	86.0
	※ 令和2年度 実績値の算式	41,406千円 ÷ 60,943千円 × 100				
② 自己収入比率	補助金等を除く収入 ÷ 経常収益計 × 100 (%)	17.9	5.1	28.5%	17.9	17.9
	※ 令和2年度 実績値の算式	3,158千円 ÷ 61,800千円 × 100				
③						
指標の設定に関する留意事項	早急な財務状況の改善は困難なことから、当面は緩やかな改善を目指す。					

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等自己評価	改革工程				県所管部課二次評価	改革工程			
		活動内容	財務内容	組織運営	活動内容		財務内容	組織運営		
評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程 B	活動内容 A	財務内容 B	組織運営 B	評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程 B	活動内容 A	財務内容 B	組織運営 A	
目標達成度		<p>活動内容については、県民芸術祭(助成事業)の拡充により、コロナ禍にあっても総入場者数は大幅に増加した。結果として、目標値を大きく上回った。また、みやざき文学賞の応募作品数も目標値を上回るとともに、高校生から80代まで幅広い年代の県民が受賞するなど、県民の裾野の拡大が図られた。</p> <p>財務内容については、自主事業比率及び自己収入比率ともに達成度は低いが、実施事業は県の補助による公益性の高いものが多く、やむを得ない面がある。</p> <p>組織運営については、アーツカウンシルの機能が十分に発揮されるなど、本県芸術文化の振興を図る上で適正な体制が整っている。</p>	<p>活動内容については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、各指標とも目標を達成しており評価できる。</p> <p>財務内容については、県からの財政支出が収入の大きな割合を占めており、自己収入比率も目標値を大きく下回っていることから、引き続き自己収入の確保及び経費削減に努める必要がある。</p> <p>令和3年度に開催された国民文化祭及び全国障害者・芸術文化祭による文化振興の機運醸成を活かし、県民の芸術文化活動促進を効果的に取り組むことが求められる。</p>							
				公社等改革推進委員会三次評価						